

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English E		
英文授業科目名	English E		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	社本 雅信		
居室	東1-807		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shamoto@bunka.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
読解力向上と表現力向上。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
「なし」

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
1.ドナルド・キーン『古今英雄集』（朝日出版社、1100円） 2.5分間英語表現構文（南雲堂、700円）

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

上記教科書1を使い、次のことを行う。(ほぼ55分から60分間)

1. 英雄は民族の危機、社会の混乱の中からそれを救うべく生まれてくる。英雄の物語を読んでいると、英雄を生んだ

国の状況や英雄に託した民族の夢が彷彿として浮かんでる。

ドナルド・キーンの英文は明快で読みやすい。英文の意味が取れたからそれで終わりというのではなく、気に入っ

た文を時々書いたり口で唱えたりすると、自然に英語の総合力がついてくる。毎回10人程度に訳読させる。

常に前後の脈絡を考えて、語句の意味、構文を捉えるように指導する。

上記教科書2を使い、次のことを行う。(ほぼ25分から30分間)

2. 「行く、来る」「出発する、到着する」「歩く」「旅行する」「見る」「聞く」「怒る」「喜ぶ」「悲しむ」「食べる」「飲む」「借りる」

「断る」などの基本的かつ日常的な表現(40項目)をどのような英語の動詞で表現するかを練習する。例えば、

「飲む」では、「食後この薬を忘れずに飲みなさい。

(Don't forget to take this medicine after each meal.)」「このチキンスープは熱くてぼくには飲めない。

(This chicken soup is so hot that I can't eat it.)」などの例が10題挙げられている。

教科書に挙がっている400題の例文をマスターすれば、相当自信がつくはずでる。

後期は、将来英語を使つてのプレゼンテーションができるように、長めの英文を書くことに挑戦してもらうが、前期は

そのための準備段階と心得て、各自しっかり努力してほしい。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期終了後の成績を100%としたとき、期末試験の占める比率は70から75%、平常点を25%から30%とする。平常点には、発表の出来具合、授業に対する取り組み方、小テスト(3から4回程度)の成績、出席率が含まれる。

なお、1) 小テストを欠席すればその分は零点になり、

2) 欠席が前期授業回数の3分の1を超える場合は定期試験の受験資格を失う。

### 【オフィスアワー：授業相談】

金曜日4時半から5時10分まで

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【学生へのメッセージ】

1. 英語はピアノの練習と同様に、継続的に学習してこそ力がつく。毎日最低30分でも英語に接するように。
2. 早くに英々辞典（たとえばLDCE、OALD）を購入して、英語で物を考える癖をつけよう。英和辞典だけが英語の辞書ではない。英々辞典を長く根気よく使うと、似たようなことばの間の差異などに気づくようになる。

### 【その他】